

県立病院ではたらく仲間をつなぐ

# 病院組合ニュース

2023. 12. 18  
No.165  
愛知県病院事業庁職員組合  
〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1 愛知県東大手庁舎内  
電話(052)212-8031 FAX(フリーアクセス)0120-930-340  
メールアドレス byoin@aichikenshoku.gr.jp  
発行責任者 亀井祐介

## 在宅勤務等手当の新設と夏季休暇の取得可能期間の拡大

### 病院事業庁交渉

12月15日、病院事業庁から「在宅勤務等手当の取得期間の拡大について」の提示及び「夏季休暇の取得期間の拡大について」の提示がなされました。在宅勤務等手当については、在宅勤務（在宅勤務等）と在宅勤務（在宅勤務）の2種類があり、在宅勤務（在宅勤務）は、在宅勤務等手当の取得期間を在宅勤務等手当の取得期間として提示されています。また、夏季休暇の取得可能期間の拡大が、在宅勤務等手当の取得期間の拡大と合わせて提示されています。在宅勤務等手当の取得期間の拡大は、在宅勤務等手当の取得期間を在宅勤務等手当の取得期間として提示されています。また、夏季休暇の取得可能期間の拡大が、在宅勤務等手当の取得期間の拡大と合わせて提示されています。

### 組合員から質問

Q. 年度の途中で育児休業から復帰した場合は、年休は何日ある？  
A. 育休中であっても4月1日に在職しているため、4月1日に勤務している職員と同じ扱いです。また、年休取得5日義務も適用されるので、組織としてはやむを得ない場合を除き最低でも5日を取らせたいといけません。なお、長期で休暇を取っていたからといって年休取得が少なくなるような扱いはありません。

### 夏季休暇の取得可能期間の拡大について

知事部局において、下記の通り方針が示されております。  
病院事業庁の職員の服務については、知事部局の例によることとしており、同様の取扱いとなりますのでご承知ください。

参考) 知事部局における総合要求の回答

| 2023要求   | 回答  |
|--|---|
| II 権利関係<br>4 夏季休暇について<br>夏季休暇について、使用可能期間を拡大すること。 | II 4<br>夏季休暇の取得可能期間について、職員のワーク・ライフ・バランスをより一層推進する観点から、すべての職員について、当該期間を5月1日から10月31日までに拡大することとしたい。 |

※組合にてレイアウトを一部加工

### 「人事異動事前110番」改め「人事異動事前相談」について

こんな場合は通知文を確認して→  
1.2月.2.7日までに本部へ

- 育児や介護を行う場合  
→「保育園の送迎で、できるだけ自宅から近い職場を希望したい」「親の介護で通院が必要なため、現在の職場から異動ができない」  
※介護の場合、同居していることが前提です。
- 通勤時間が1時間30分を越える場合  
→「通勤時間が2時間以上かかり、肉体的に大変なので、1時間30分以内の職場に異動を希望したい。」
- 家庭・健康面などに特別な事情がある場合

病院組合女性部交流会  
CATS & ランチコース  
催しました。貸切レストランでおいしいランチの後は、隣接する四季劇場でミュージカル「CATS」の鑑賞をしました。ちょっと早めのXmas会みたいでとても優雅な時間を過ごす事ができました。

ランチ中に、テーブルごとのチームに分かれて、数字を使った心理ゲームをしました。上位2つのチームにCATSのグッズが当たりました!

### 役員紹介②

(精神医療センター・看護師)  
組合員の皆様のためにがんばります。

☆書記長  
近藤 陽介

(がんセンター・研究所勤務)  
組合員の皆様のためにがんばります。よろしくお祈りします。

☆副執行委員長  
田島 廣一

(がんセンター・看護師)  
組合員の皆様のためにがんばります。個人的にはもう少し年休が取りやすい職場になれば良いと思います。

☆執行委員(財政部員)  
福間 勉

(小児センター・看護師)  
初めてのことでお役に立てるか不安でいっぱいですがどうぞよろしくお祈りします。

☆執行委員(財政部長)  
富永 妙子

力を合わせてがんばります。よろしくお祈りします。

# 母親大会 in 山口

11月25日(土)にたまたま  
山口県で催された  
日本母親大会のレポート  
をお届けします

## 「第68回日本母親大会 in 山口に参加して」

「日本母親大会って何？母親しか参加できないんでしょ？」と組合員の方々の声をよく耳にします。日本母親大会とは、1954年、アメリカの水爆実験によりビキニ環礁で日本が被災し、当時、平塚らいてうが、世界母親大会の開催を決定、世界の母親の要求を話しあう大会とする、と定めました。それから今日に至るまで日本では47都道府県実行委員会と44の中央団体が参加しています。他団体主

催の集會に参加し知識を得ることを目的として毎年参加しています。病院組合は「よい患者サービスは良い労働条件から」を第一に労働環境の改善に努めています。自分らしい働き方と暮らしのヒントをもらうために母親でなくとも男性でも誰でも参加できますので、みなさん一度参加してみませんか。

### 今回「日本母親大会」

が山口県で開催されるのは初めてということ、1万2千人の参加がありました。25日の全体会では室蘭工業大学教授で憲法学者、清未愛沙先生の「あらたな戦前に抗する」を聴講、アフガニスタンやパレスチナ自治区、ガザの惨状をお話しくださいました。戦争がないことのありがたさが身に沁みました。2日目は大阪公立中

学校教諭の平井美津子先生「子どもの心によりそって生きつらさと向き合う子どもたち」を聴講しました。生まれてくる環境やどんな両親のもとで育つかは子どもに大きく影響します。暴力や虐待、いじめ、貧困などがあってもその環境から子どもは逃げる術がありません。それは大人の場合でもなかなか難しいです。子供の成育にかかわる教員の立場から先生が言われていたのは、「これは理不尽だ」と感じることで、そして「それは日本の法律を考えた時、憲法違反だとわかること」

「自分が人間として大事にされていない、当然受けるべき恩恵を受けていないことに気づけること」「気づけたら声に出して言い、変えていこうとすることができるようになってあ



(参加者Aさん・精神)

「成人したげること」「平和な国を作っていくことを刷り込むこと」だ。だから、「学校という小さな社会の中でそれが分かったなら学校のルールを変えていこうとする人になるように教育することだ」と言われていました。大人もなかなかこれは難しい。私たち精神科看護師の立場から考えると発達障害や精神障害をもった親や子どもはもつと難しいと感じました。私たちは社会の役割の中で自分ができることをあきらめずにやってみよう。大事なのだと感じました。

大会が終わり紅葉真っ盛りの山々を見ながら関門海峡まで足を延ばし素晴らしい夜景を堪能しました。初めての山口県は心に残るとても良い思い出となりました。参加させていた

また、平井先生の子ども心に寄り添ってという講義に参加させていただきました。子どもを取り巻く環境は様々です。先生は表面上ではなく、心を育てるこ



# WOMAN EXPO 2023 winter レポート①

11月25日(土)東京国際フォーラムで開催されたWOMANEXPO2023winterに組合員3名が参加しました。今回は2人の組合員さんのレポートを掲載します！

## 「心の声に耳を傾け、仕事も家庭もベストな自分でいられるスキルを身につけよう！」

### WOMAN EXPO

〇に参加して「心」の声に耳を傾け、仕事も家庭もベストな自分でいられるスキルを身につけよう！のセミナーを聞いてきました。WHOでも提唱しているWell-beingを会社の取り組みとして部署を

設け、会社全体で取り組んでいる方の実践内容でした。その会社では、社員がその取り組みを理解し、自分の健康状態と照らし合わせ課題・対策・答えを導けるよう会社が後押し、更に社員同士も協力し合える環境作りをしているという話が聞けました。話の中で日々のストレスや不安から目を背けるのではなく、良い時も悪い時も自分の心の声に耳を傾け、ベストな状態にいるためのスキルを大切にしていると話されていました。

病院でも子育てをしながら仕事をしている人が増えていますが、忙しくなると自分を後回しにしてしまうことがあると思います。また仕事にあつた嫌なこと、嫌なことばかりを思い出してし

まう(モンキーマインド)になることがあると思います。「ベストな自分」を保つために五感を使った呼吸法やWell-beingについて病棟で話し合いができる環境を要求できると良いと思いました。



## 1人で成功できる「1つは何1つない?」

「1人」で成功している人はいない。多くの人に気持ちよく助けてもらう強力なバックアップを望める関係性を構築する方法のセミナーに参加しました。

不規則な生活のためドラマ「くすぶりの女とすん止め女」は見えて

ないのですが、そのドラマが再生回数百万回超えという成功した理由を原案となったエッセイ作者とテレビ局プロデューサーのご自身の体験を交えての貴重なお話を聴くことができました。

仕事には他人の助けが必要な場面がたくさんあると思います。

まず、どうやって力を借りるかは、常に話すこと。直接「協力して」と話すと「お金?」「何?」と思われるかもしれません。ではどうするのが良いかと言うと「誰かこれに興味ある人いない」など間接的な方法を使うのがポイントとのこと。

グループで仕事する場合、自分が忙しくて辛いときは無いでしょうか?そんなときは、実は一緒にグループの人

そこで、そのグループの人を楽にするには自分がどのように立ち回るかを考えて行動すると、その先にその人がお返しをしてくれる。別にリターンを期待するわけではなく、「グループとして誰かを助けるように」の精神をもって仕事をするのがバックアップを得られるコツとのことでした。

また、まじめに仕事に没頭しても、地味な仕事は評価されないと思っていますか?まじめに頑張っている姿を見てくれる上司や同僚がいる職場なら、きっと新しい案件を上司が持ってきて強力してくれたり、同僚がその案件を一緒にしたいと思ってくれたりするそうです。頑張っている人には仕事に対して安心感がありますよね。コツコツ頑張っている姿を見てくれる職場な

とが大事であるとおっしゃっていて、大人がそういう姿を見せていく必要があると言われている。人の心に寄り添えば、子供にも影響し、そういう人が増えれば平和にもつながっていくのだと思います。最後に山口県は魚が美味しく、見渡せば山が見えるとても癒される場所です。フレッシュアップすることができました。(参加者Bさん・精神)